サイボー

Top インタビュー

社長 飯塚 榮一 氏

2023年3月期（22年度）に100期の節目を迎えたサイボー。101期目の今期は、新中期経営計画の初年度でもあり、新たな一歩を踏み出した。飯塚榮一社長は「サイボーは繊維の会社であると言いたい」とし、繊維事業を軸に持続的成長を図る。昨年にはプリントを主体とする新会社サイボークリエイトを設立するなど体制も整えた。

業界挙げ地道な努力

――インフレを好機とするには何が必要ですか。

インフレによって財布のひもが固くなると悪い影響が出てくると思います。そのひもを緩めるには、消費者が欲しいと思う物を作り、心地よい接客で購買を促す必要があります。メーカーと小売企業が個社で取り組むだけでなく、業界を挙げた対応が不可欠であり、地道な努力も求められるでしょう。

モノの価格が上昇している時は節約しようという心が働き、買い控えが起こります。給料がどんどん上がるならばインフレも悪くはないのですが、大企業と中小・零細企業の間で賃金上昇の差が生じ、難しい状況になりつつあります。結局はインフレ、デフレに捉われることなく、コツコツと前に進むことが大切なのかもしれません。

――繊維企業にとってインフレはチャンスでしょうか。

ロシアのウクライナ侵攻でエネルギー価格が上昇し、インフレにつながりましたが、元々日本政府は、外圧や国内情勢などからインフレ誘導政策を取ってきました。作ろうとしていたインフレですが、繊維製品の小売価格は上昇が難しく、繊維企業にはデフレの方が良かったのではないかと感じています。

インフレよりも問題なのは少子高齢化だと思っています。賃金が上がって消費が回復しても、長期的な成長には不可欠です。それには現在のマテリアル、アパレル、アウトドアの主要3部門に続く新しい取り組みが必要と判断したのが設立の理由です。

――新会社の立ち上がりは。

タオルやTシャツなどの製品へのプリントを主体に、昨年の9月から一部稼働を開始しました。設備が整ったのは今年2月20日ごろなのですが、3月はフル稼働で、予想以上の数字が上がるなど、良いスタートダッシュが切れました。23年度以降も大きな戦力になると思っています。

――23年度の経済や市場の見通しについて。

昨年は、新会社のサイボークリエイトを4月に設立しました。繊維業界を取り巻く環境が厳しくなる中、繊維事業の収益基盤のさらなる強化が中長期的な成長には不可欠です。それには現在のマテリアル、アパレル、アウトドアの主要3部門に続く新しい取り組みが必要と判断したのが設立の理由です。

――新会社の立ち上がりは。

タオルやTシャツなどの製品へのプリントを主体に、昨年の9月から一部稼働を開始しました。設備が整ったのは今年2月20日ごろなのですが、3月はフル稼働で、予想以上の数字が上がるなど、良いスタートダッシュが切れました。23年度以降も大きな戦力になると思っています。

――23年度の経済や市場の見通しについて。

世界経済は良い方向に進み、日本は少し遅れる可能性はありますが、経済は着実に回復していくと思います。ただ、人の問題が残っています。繊維製造業もそうですが、運送や建設に携わる人の不足が取り沙汰される一方で、人が余っている分野もあります。その偏りを是正しないと、成長は止まってしまいます。

――サイボーはどのような施策を進めますか。

今期は101期であり、新中計が始動した年でもあります。有事の際に役立つテントの展開を強化したいと考えていたのですが、アウトドア向けのカジュアルテントが好調でその余裕がありませんでした。今期は防災テントなどを本格展開する初年度と考えています。

繊維会社として成長を

マテリアルは、水の使用量が少ない先染めの合繊糸の拡販やその回収・リサイクルなどに注力します。法人向けユニフォームも環境配慮の取り組みを深めます。レース製造販売を含め、今期も繊維事業の増収増益を目指し、「サイボーは繊維の会社」とアピールします。

【略歴】
いいづか・えいいち　1974年サイボー入社。2002年アパレル事業部事業部長、03年取締役、10年常務繊維事業本部長、13年専務、20年代表取締役専務繊維事業本部長兼東京支店長などを経て、21年に代表取締役社長

インフレを実感するとき

孫に、従業員に

菓子をよく購入すると話す飯塚さん。「店に並んでいる和菓子が一回り小さくなっていたり、孫に買った菓子の内容量が少なくなったりしているのを見た時にインフレを実感する」と言う。誰が食べても、いつ食べてもおいしいと思ってもらえるような菓子を人任せでなく、自分で選んで購入する。孫や自分のためだけでなく、従業員に食べてもらうために買うことも多い。ただ、「体重増加は自己責任で」と伝えているのだとか。

この記事は「繊維ニュース」を発行するダイセンの転載許諾を受けています。